

授業科目名	基礎ゼミ I
科目番号	0AFL051
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 B 土 4,5
担当教員	市橋 雅晴
授業概要	法律初学者を念頭に、今後の学習方法の方向性を把握してもらうことを目指す。比較的短い事例問題に関し、質疑応答を行い、法的議論の進め方の理解を図る。以上により、法学学習の最初期に学習の骨格部分を固め、以降の学習に臨む態勢を整える。
備考	法曹専攻の学生のみ履修可 01NA503 と同一。 対面 (オンライン併用型)
授業形態	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	リーガルマインド
授業の到達目標 (学修成果)	民法について、今後の学習方法の方向性を把握し、法的議論の進め方の特徴を理解すること。民法の基本的な仕組み、発想に慣れること。
授業計画	民法 I、民法 IV - 1 で扱う重要事項を受講者と共に事例問題の答案を作成しながら概説する。なお、個別の答案添削はしない。 第 1 回ガイダンス、答案作成上の留意点 第 2 回意思表示に関する事例問題を題材に答案作成しながら概説 第 3 回意思表示について概説 第 4 回意思表示に関する事例問題を題材に答案作成しながら概説 第 5 回代理について概説 第 6 回代理に関する事例問題を題材に答案を作成しながら概説 第 7 回代理 (無意見代理・表見代理) について概説 第 8 回代理 (無権代理・表見代理) に関する事例問題を題材に答案作成しながら概説 第 9 回物権 (総則) に関する概説 第 10 回物権 (総則) に関する事例問題を題材に答案作成しながら概説、全体のまとめ 「共通的な到達目標モデル (第二次案修正案) (コアカリキュラム) については、法律改正、判例変更など変更部分があることから、適宜授業内で指摘する。
履修条件	配当年次による
成績評価方法	授業出席、受講態度、質問などを総合的に判断し、成績評価を行う
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業外における学修 (予習・復習等) については、授業時に担当教員より示す
教材・参考文献・配付資料等	◎参考書 佐久間毅『民法の基礎 I 総則 (第 5 版)』 (有斐閣・2020 年) 佐久間毅『民法の基礎 II 物権 (第 3 版)』 (有斐閣・2023 年)
オフィスアワー等 (連絡先含む)	授業後に対応する
その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	教育における生成 AI 活用のガイドライン (学生向け) を参照し、適切に活用してください。生成 AI による提案や回答が必ずしも正確とは限らないため、得られた情報は批判的に評価し、責任をもって内容を精査してください。

他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチングアシスタント (TA)	
キーワード	事例問題の答案作成, 虚偽表示, 94 条 2 項の類推適用, 代理, 不動産物権変動, 背信的悪意者

授業科目名	基礎ゼミ II
科目番号	0AFL053
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 C 土 4,5
担当教員	福田 純一, 山岸 久晃
授業概要	初学者を念頭に、憲法、刑法について、法的な考え方、法的な表現を把握してもらうことを目指す。各科目における重要な解釈論を含む事例問題を題材に用いる。基本書や判例を読む際の注意点、使用方法に留意する。以上により、以降の学習に臨む体制を整える。
備考	法曹専攻の学生のみ履修可 01NA504 と同一。 対面 (オンライン併用型)
授業形態	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	リーガルマインド
授業の到達目標 (学修成果)	憲法、刑法について、今後の学習方法の方向性を把握し、法的議論の進め方の特徴を概括的にも理解すること。基本書や判例を読む際の使用法を理解すること。同時に、憲法、刑法の基本的な仕組み、発想になれること。 さらに、憲法と刑法との比較。どのような共通する考え方があり、どのような違いがあるかについて概括的に理解すること。
授業計画	各科目における重要な解釈論を含む事例問題を用いる。具体的事案に一般的抽象的な法規範を解釈、適用して事案の解決を導く、という法的議論の進め方を受講者と一緒に行う。 憲法 第 1 回前半 経済的自由に関する諸問題概説 (憲法の起案方法、三段階審査、違憲審査基準を含む。) 第 2 回前半 表現の自由に関する諸問題解説 第 3 回前半 幸福追求権 (包括的基本権)、平等権に関する諸問題概説 第 4 回前半 課題レポートの解説その他憲法に関する諸問題概説 第 5 回前半 政教分離その他憲法に関する諸問題概説 刑法 第 1 回後半 単独正犯に関する諸問題概説 1 第 2 回後半 共同正犯に関する諸問題概説 1 第 3 回後半 共同正犯に関する諸問題概説 2 第 4 回後半 課題レポートの解説その他刑法に関する諸問題概説 第 5 回後半 刑法各論に関する諸問題概説「共通的な到達目標モデル (第二次案修正案)」(コアカリキュラム)については、法律改正、判例変更など変更部分があることから、適宜授業内で指摘する。

履修条件	配当年次による
成績評価方法	レポート憲法刑法各 50%、合計 100%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業外における学修 (予習・復習等) については、授業時に担当教員より示す
教材・参考文献・配付資料等	<p>講師は授業を行うに際して、下記の書籍を含む複数の書籍を参考とする予定であるが、学生は、既に使用している教材があれば、これを使用して構わない。</p> <p>憲法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 芦部信喜、高橋和之「憲法」[第八版] 2. 渡辺康行、穴戸常寿、松本和彦、工藤達朗「憲法 I 基本権」[第 2 版] 3. 木下智史、伊藤建、「基本憲法 I 基本的人権」 4. 長谷部恭男、石川健治他「憲法判例百選 I」[第 8 版] 5. 長谷部恭男、石川健治他「憲法判例百選 II」[第 8 版] <p>刑法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 井田良「講義刑法学・総論」[第 2 版] 2. 大谷實「刑法講義総論」[新版第 6 版]
オフィスアワー等 (連絡先含む)	<p>授業後に対応する</p> <p>山岸 久晃</p>
その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	<p>教育における生成 AI 活用のガイドライン (学生向け)」を参照し、適切に活用してください。生成 AI による提案や回答が必ずしも正確とは限らないため、得られた情報は批判的に評価し、責任をもって内容を精査してください。</p>
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチングアシスタント (TA)	
キーワード	

授業科目名	法学概論
科目番号	0AFL057
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 A 水 7,8
担当教員	北尾 仁宏
授業概要	初学者を念頭に、各専門科目への橋渡し、いわば「入門の入門」として、基礎的な法令用語から各法分野に共通する基本的な考え方、各法分野間の異同等をごく簡単に概観する。副次的に、法令や判例の検索方法その他の法科大学院における学習に最低限必要な技能・技術の獲得も図る。
備考	法曹専攻の学生のみ履修可 01NA507 と同一。 対面 (オンライン併用型)
授業形態	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	リーガルマインド
授業の到達目標 (学修成果)	基礎的で初歩的な法令用語や解釈方法の意味を解説できるようになるとともに、それらを実際の場面に応じて使い分けられるようになることを第 1 目標、基礎的な法概念や、公法と私法、民事と刑事など基本的な区分を解説できるようになることを第 2 目標、民事法や刑事法といった従来分類に従った縦の検討とそうした分類を跨ぐ横の検討との異同を説明できるようになることを第 3 目標とする。
授業計画	第 1 回法学の始め方 法令等の読み方、解釈、裁判例の探し方などを押さえつつ、基礎的な法概念を知る。 第 2 回法と国家 引き続き基礎的な法概念を学ぶとともに、日本国憲法に至るまでの基本的な流れを再確認する。 第 3 回公法と私法 1 民事法分野を中心に、公法と私法の違いを学ぶ。 第 4 回公法と私法 2 刑事法分野を中心に、引き続き公法と私法の違いを学ぶ。 第 5 回現代社会と法学 医事やジェンダーなど、社会法と総称される分野の基本的な在り方を知る。
履修条件	
成績評価方法	期末試験 100%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業外における学修 (予習・復習等) については、授業時に担当教員より示す。
教材・参考文献・配付資料等	毎回レジュメを配布する。 参考文献は講義内で紹介するが、さしあたり下記 4 点を例示する。 ・早川吉尚『法学入門』(有斐閣、2016 年) ・横田明美=小谷昌子=堀田周吾『法学学習 Q&A』(有斐閣、2019 年) ・宍戸常寿=石川博康編『法学入門』(有斐閣、2021 年) ・東京大学法学部「現代と法」委員会編『まだ、法学を知らない君へ』(有斐閣、2022 年)

オフィスアワー等（連絡先含む）	履修ガイド記載のとおり
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	この科目では特に復習を重視してください。 教育における生成 AI 活用のガイドライン (学生向け)」を参照し、適切に活用してください。生成 AI による提案や回答が必ずしも正確とは限らないため、得られた情報は批判的に評価し、責任をもって内容を精査してください。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチングアシスタント (TA)	
キーワード	